

運営推進会議録

記録者(職種)高橋美紀子 心春管理者

開催日 令和 2年 9月 25日

開催場所 ゆーとりあ内会議室

開催時間 13:30~14:30

開催回数 1 回

	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名
会議出席者	保険者	秋本 有子	地域代表	小笠原 憲昭	利用者家族代表	柳館 由紀江
	通所介護班班長	和田 玲子	心春看護師	千葉 由美子	心春管理者	高橋 美紀子
検討内容など	1. 心春の運営状況・現状について					
	今年度から利用定員数を12人→10人に変更。昨年4月～9月までの一日平均利用者数6.6人に対し、今年度は7.4人となっています。					
	今現在登録利用者数20名、週間利用人数別では月・水・金は若干空きはあるがその他の曜日は定員に達している。これは6月にほっとりが休止になった事に伴い利用者の移行があり、更に新規利用者も増えた事が増に繋がった。					
	朝食提供利用者はいませんが、洗濯提供利用者は3名、デイで洗濯された衣類に着替える事で清潔保持が出来ている。					
検討内容など	2. アクシデント報告について					
	薬に関しては、大事故に繋がりがかねないのでスタッフ間でしっかり検証・確認し合い再発防止に努めたい。					
検討内容など	3. 4月からの活動・取り組みについて					
	3月からのコロナウイルス感染予防対策や熱中症予防対策として、スタッフや利用者の体調管理に努めこまめに換気を行いエアコンや扇風機を併用してこまめな水分補給に努めた。外出は控え室内での体操やレク・ゲーム等取り組みを工夫し過ごしてもらった。					
	9月に入り暑さも和らいだ事もあり、東屋で昼食を食べたりレクをして過ごし筋力低下予防もかねて心春周りを散策したりと気分転換をしたりした。					

検討内容など	<p>4、今後の取り組みについて</p> <p>* 地域との関わり</p> <p>コロナウイルス感染予防の為、地域との交流はほとんど持っていない状況。今後のコロナウイルス感染状況を見ながら地域との関わりを考えていきたい。過ごしやすくなってきたので状況を見ながら近隣の散歩や東屋でのレクやおやつタイム等、外に出る機会を作りたいと思っている。引き続き地域の方々の見守りをお願いしたい。</p> <p>* 今後の心春として</p> <p>今年度から利用定員12名から10名とし、ゆとりある介護・サービスの充実に繋げている。今後心春に出来る支援を更に検討しサービスの質の向上に努めたい。</p>
	<p>質疑・応答</p> <p>・秋本さん～コロナウイルス感染の関係で休んでもらった利用者は何人ですか</p> <p>(心春)～2人です。2週間休んでももらいました。</p> <hr/> <p>・小笠原さん～現在、国では他県に行ってもいいと許可してるのに、どうして福祉だけが厳しいのか。</p> <p>(柳館さん)～県や町の意向を受けている。小坂福祉会としては2週間感染が出ていない所は行ってもいいとなっている。多数出ている所に子供の受験などで行かなければならない場合は仕事を2週間休んでもらっている。</p> <p>・小笠原さん～都会の人はどんどん田舎に来てるのに、田舎ばかりが我慢している。考え方を変えていかなければならないのではないか</p> <p>(心春)～実際、利用者の家族は認知症が進んだ親の所にも来れず我慢しているのが現状。心春は密を避けられないのも現状。</p> <p>(柳館さん)～うちの施設ではパネルを使い、なるべく距離を取っている。利用者はマスクをしていない。</p> <p>(小笠原さん)～マスクを外して外や山を歩き、もっと楽しく暮らせるように工夫していかなければならないと思う。</p> <p>・秋本さん～上小坂町内ではどのような取り組みをしていますか。</p> <p>(小笠原さん)～コロナウイルス感染で全ての行事が中止となっている。敬老会も行わずタオルとマスクのセットを配り老人クラブに関しては、お弁当を配った。行事が無いから楽しみが無くなってきている。</p> <p>(心春)～交流する機会が減っているので、認知機能が低下しないか心配。</p>

<p>質疑・応答</p>	<p>・柳舘さん～心春の定員利用数が減ったのはどのような理由なのか。 (心春)～スタッフの対応や、スペースが狭いのでゆっくりくつろいでもらえないのが理由。</p> <p>・秋本さん～希望しても利用できない曜日の利用者はいますか。 (心春)～1名利用出来ず、ゆーとりあへ変更になった。</p> <p>・小笠原さん～サービスを受ける側と提供する側のバランスは取れているのか。 (秋本さん)～小坂町であかしあ・ゆーとりあ・心春でデイサービスを行っているのですが、サービスを受けられない人はいないが希望曜日に利用出来ない事はある。</p>
<p>結論</p>	<p>コロナウイルス感染に気を付けながら、今後も地域とうまく繋がりを持ち積極的に町や地域の方達に認知症や心春を知ってもらい理解するように努力していく。</p>
<p>残された課題</p>	<p>感染(コロナウイルス、インフルエンザ等)から利用者を守り安心・安全に利用して頂く為に、感染対策をどのようにしていくか。 利用者一人一人のニーズや家族の希望に応えられる支援や、スタッフの体制作りを検討する。 (次回開催時期)令和3年3月予定</p>